

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成29年7月13日(2017.7.13)

【公開番号】特開2017-64449(P2017-64449A)

【公開日】平成29年4月6日(2017.4.6)

【年通号数】公開・登録公報2017-014

【出願番号】特願2016-242770(P2016-242770)

【国際特許分類】

A 6 3 H 33/38 (2006.01)

G 0 6 F 3/042 (2006.01)

G 0 6 K 7/14 (2006.01)

G 0 6 K 7/10 (2006.01)

G 0 6 K 19/06 (2006.01)

B 4 2 D 1/00 (2006.01)

【F I】

A 6 3 H 33/38 C

G 0 6 F 3/042 4 2 1

G 0 6 K 7/14 0 1 7

G 0 6 K 7/10 3 9 2

G 0 6 K 19/06 0 3 7

B 4 2 D 1/00 F

【手続補正書】

【提出日】平成29年5月24日(2017.5.24)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ドットコード生成アルゴリズムによりドットを所定の規則に則って配列したドットパターンであって、

(A) 第一方向ラインと、該第一方向ラインと交差する第二方向ラインと、を定義する複数のドット、

(B) 前記第一方向ラインと第二方向ラインからずれて配置されて向きを認識可能にする少なくとも一つのドット、および、

(C) 前記複数のドットと前記第一方向ラインと前記第二方向ラインとによって定義される交点からずれた配置と、前記複数のドットを含む格子で囲まれた中心点からずれた配置と、の少なくともいずれかの配置によって情報が定義されるドット

を所定の規則に則って配列した、

ドットパターン。

【請求項 2】

請求項 1 記載のドットパターンが形成された媒体。

【請求項 3】

請求項 1 記載のドットパターンを撮影し、

解析して当該ドットパターンの定義するデータ内容を取得する、ドットパターン読み取り方法。

【請求項 4】

請求項 1 記載のドットパターンが形成された媒体を読取り手段で読み取るステップと、
処理手段によって、
該ドットパターンからドットを抽出するステップと、
該ドットの配置にしたがって該ドットパターンの定義するデータ内容を解析するステップと、
記憶手段に記憶された、該データ内容に対応した情報を出力手段で出力するステップと、
を含む、ドットパターンを用いた情報処理方法。

【請求項 5】

請求項 1 記載のドットパターンを形成した媒体に対して、
該媒体のドットパターンを撮影する手段を備えたドットパターン読取装置。

【請求項 6】

前記ドットパターンからドットを抽出する手段をさらに備えた請求項 5 記載のドットパターン読取装置。

【請求項 7】

前記ドットの配置にしたがって該ドットパターンの定義するデータ内容を解析する手段をさらに備えた請求項 6 記載のドットパターン読取装置。

【請求項 8】

請求項 1 記載のドットパターンを形成した媒体に対して、
該媒体のドットパターンを撮影する手段と、
前記ドットパターンからドットを抽出する手段と、
該ドットの配置にしたがって該ドットパターンの定義するデータ内容を解析する手段と、
該データ内容に対応した情報を記憶する記憶手段と、
該データ内容に対応した情報を出力する出力手段と、を備えたドットパターンを用いた情報処理装置。

【請求項 9】

請求項 1 記載のドットパターンからドットを抽出するステップと、
該ドットの配置にしたがって該ドットパターンの定義するデータ内容を解析するステップと、
を情報処理装置に実行させるためのプログラム。

【請求項 10】

請求項 1 記載のドットパターンからドットを抽出する手段と、
該ドットの配置にしたがって該ドットパターンの定義するデータ内容を解析する手段と、
を備えたドットパターンを用いた情報処理装置。